

施策評価シート

作成日	平成20年9月29日
部署	産業課
作成者	浅野 正治

1. 施策の情報整理

施策名	観光の推進		
施策の情報整理	目指す成果	町観光協会と共に町の観光資源を発掘・整備しそれを活用することにより、町内への観光客や交流人口が増え、町が賑わっている。	
	施策目標値及び19年度の状況	22年度目標値	19年度達成状況
		500,000人	480,000人
		観光入込数	観光入込数
	施策の達成状況	目標をほぼ達成	
	成果目標に対するH19の達成度の説明	各種イベントの実行委員会等に参加し、後援を行った。 いっさいがっさいフェスティバルを主催し、町内産業をはじめ、健康さかえ21の活動に協力した。 ボランティアとの協働により、里山整備・岩屋古墳周辺の整備を行った。 新たにウォーキングイベントを企画し、観光ルートとして紹介した。 ちば観光プロモーション協議会や成田空港周辺国際観光推進協議会に参加し、国内外の観光客誘致活動を行った。	
	施策の総括	おおむね良好	
	施策の方向性	町内経済の活性化のためには、観光による集客が不可欠である。様々な媒体や機会を利用して町の魅力をアピールすることにより、より多くの来訪者を招き、栄町の良さを実感していただき、何度も行きたくなる町をめざす。	
他課との役割分担	無し		

(2) 分析後の取り組み方針

事務事業名	今までの進捗状況 説明	今後の取組 具体的方向性	事業費	
イベント支援	さくら祭・夏のコンサート・ふるさと祭・とりまちのイベントの実行委員会等に参加し、後援を行った。 いっさいがっさいフェスティバルを主催し、町内産業をはじめ、健康さかえ21の活動に協力した。	既存のイベント(さくら祭り・ふるさと祭り・とりまち・いっさいがっさいフェスティバル)の内容の充実と、イベントの主体である実行委員会の人的充実が必要であるため、人材の発掘・育成を行っていく。	H19決算	70
			H20	111
			H21	420
			H22	
観光情報の発信	ドラムの里のホームページをメニューを変更時やイベント情報等を随時更新した。 観光パンフレット作成については、観光協会と連携し作成することとし、内容の調整を行った。	様々な場と媒体を利用して栄町をアピールしていく。	H19決算	3,961
			H20	0
			H21	2,000
			H22	
観光資源の整備・活用	ボランティアとの協働により、里山整備・岩屋古墳周辺の整備を行った。 ウォーキングイベントを企画し、観光ルートとして紹介した。	町内に存する観光資源の整備と活用を行い、町に訪れる観光客の増加を狙う。	H19決算	236
			H20	298
			H21	4,340
			H22	

イメージアップ・ホスピタリティー推進事業	各種団体との協働で公共施設等への植栽や、桜の木の植樹、維持管理を行った。	町内の要所を花壇化したり・桜の名所作り・町の花の育成を行い、来訪者をもてなす環境作りを行う。また、町内に存する観光資源の案内や説明を行うボランティアを育成し、町の良さをアピールできる環境整備をする。	H19決算	63
			H20	34
			H21	305
			H22	
観光客誘致事業	ちば観光プロモーション協議会や成田空港周辺国際観光推進協議会に参加し、国内外の観光客誘致活動を行った。	国、県の事業とタイアップし、国内外の観光客、来訪者の増加を図る。また、交通の便の改善を図る。	H19決算	250
			H20	250
			H21	250
			H22	
観光協会との協働	町と観光協会が中心となり、町内各イベントや活動を行った。	NPO法人となった観光協会との協力強化を図る。	H19決算	700
			H20	800
			H21	700
			H22	
ドラムの里の活用	ドラムの里の指定管理者の更新を行った。当初の赤字体質から脱却しつつあり、利用者も増加している。	房総のむらと共に集客の要となる施設として観光協会との協力で様々なイベントを開催していく。施設が有効利用されるように、観光協会が適正に管理・運営しているか監理していく。必要に応じ指導し改善させる。	H19決算	543
			H20	955
			H21	1,450
			H22	